

漢方
小児科 婦人科
内科 産科
浮田医院
だより



第 91 号
医療法人 せ、ら、ぎ 会
発行所：浮田医院
〒520-1214 滋賀県高島市安曇川町末広3丁目28
TEL 0740-32-3751
FAX 0740-32-3795
ホームページ: <http://www.ukita.gr.jp>
e-mail: kanpou@ukita.gr.jp
発行日：2011年2月5日(土)
発行者：浮田 徹也

漢方薬のよさ(91)

慢性肝炎I



吉益南涯

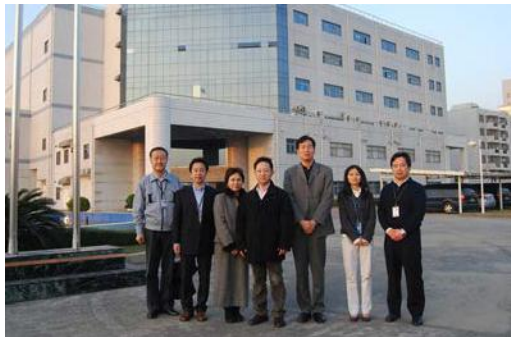
本年もよろしくお願ひします。

昨年未より雪に見舞われたにも拘わらず、多くの方々に毎日通院していただいています。当院の職員一同、皆様方の通院を考えて、安全確保に努めると共に、除雪にも力を注いでいます。

さて、昨年十二月より、院外処方に変更したため、皆様方には多くのご迷惑をおかけしていると思ひますが、これも時代の流れで、国からの指導でやむなく院外処方に変更いたしました。当院での待ち時間、院外薬局での待ち時間をできるだけ短縮するよう日夜努力しています。また、各患者様に薬の正確な情報を提供し、当院での説明と院外薬局での説明に相違が生じないように、院外薬局と定期的に研修会を開催しています。少しずつ問題点を改善し、皆様方に満足していただけるようにしたいと思います。

漢方薬の原料である生薬の調査に、昨年未中国深淺にある株式会社ツムの生薬を管理する工場に行き、中国

全土から買い付けた生薬の管理が完全に実施されている過程を視察してきました。農薬などの管理を完全に実施した畑から採取した原料の運搬(採取時ロット番号をつける)後、工場内で、異物除去、農薬含有量測定、微生物(病原菌)除去、日本の規格に適合した原料の選定など完璧な管理も



津村製薬制药公司(深圳)(中国)

慎重になされ、特に妊娠された方の仕事配分や仕事量を考慮している姿勢がみられました。もちろん私たちも清潔な服装で視察しました。当日は社長をはじめ、副社長、各部署長同伴で、隅々まで視察できました。従業員の方々との会話で、仕事に対する意気込みと誇り(自分たちは良質の生薬を日本に輸出しているという自負)にあふれた言葉や態度に感動しました。深淺はかなり南方に位置していますので、日本と違い、温かく、日の入りも遅く、午後七時ころでした。

慢性肝炎のお話です。

せせらぎ三十六、四十七、九〇号も参考にして下さい。最近抗ウイルス治療薬(インターフェロン)治療成績が上がりますが、まず第一に選択されるべきと思われまふ。しかし、肝炎の症状は様々で、便秘、食欲不振、倦怠感、痒み、寝汗、不眠、皮膚乾燥などに悩む方も多くおられます。そのような場合、漢方治療が推奨されます。

では、実例をお話します。

五十八歳男性、慢性肝炎、食欲不振、倦怠感、便秘(三日に一回)、肩こり、背中痛。二〇年前に交通事故で輸血。C型肝炎と言われている。顔色はドス黒く、腹は軟弱、胸脇苦満(軽度)、胃内停水、臍上悸、臍下不仁、舌は暗紅紫



色、乾薄黄苔、舌下静脈怒脹、脈は沈数、細。そこで、柴苓六君子湯十六味丸+大黃処方。一週間後より徐々に食欲、倦怠感、肩こり、背中痛が軽くなり、二ヶ月で症状改善。現在二年経過したが、全身症状は良好。ウイルスは消失していない。

二十六歳女性、アトピー性皮膚炎、幼少よりアトピー性皮膚炎で外用薬を使用。顔面、手足、腹、背中の乾燥、紅斑、丘疹が痒い。食欲普通、口渇(十)、便通二日に一度、生理痛、手足の冷え。顔色不良(両側頬暗紅潮)、脈浮緊数、舌紅紫色、乾薄黄苔、舌下静脈怒脹。上下腹部の弾力性普通、臍上下悸(十)、臍傍圧痛(十)。そこで、通導散+桂枝茯苓丸と白虎加人参湯を併用。痒みのひどい部分にステロイド外用薬を処方。二ヶ月後より、口渇、乾燥、痒みが減少し始め、三ヶ月後より生理痛がかなり改善。現在、三年になるが、続服中で、時々外用薬を使用している。

三十六歳女性、妊娠中毒症(経産婦)、身長一五五^キ、体重(非妊時)五十一^キ(妊娠三十四週)六十三^キ、血圧二一〇(八〇)、下肢浮腫(十)、上肢浮腫(一)、尿蛋白(十)、口渇(十)、胎児発育良好。顔色良好、腹部緊張中程度、脈は浮滑数。舌は、淡紅色、乾白苔。食事指導(カロリー一六〇〇、塩分七

g)、自宅安静、柴苓湯処方。一週間後(妊娠三十五週)、体重六十五^キ。そこで、入院治療を指示(柴苓湯)。一週間後、体重六十一^キ。二週間後、体重六〇^キ(下肢浮腫消失)。妊娠三十八週三四〇^グの赤ちゃんを無事出産(柴苓湯中止)。出産三日目より、下肢に浮腫再出現、柴苓湯処方。産後一〇日目までに、下肢浮腫消失し、柴苓湯中止。

更年期障害、五十四歳女性、のぼせと顔のほてり、突然起こる動悸と発汗、便秘(三〜四日に一回)、肩と首の凝り、不眠(睡眠中覚醒)。両頬の紅潮、腹の硬さは中程度、右胸脇苦満、脈は沈滑数。舌は紫紅色、乾白色苔。FSH七〇、E十五、貧血(一)、肝機能正常。加味逍遙散加大黄と酸棗仁湯を処方。一ヶ月後、やや改善。発汗が激しく、腹診中も皮膚はびつしより。早速、乳房検査と子宮・卵巣の検査を実施(異常所見なし)。エストラーナシール(女性ホルモン製剤)を処方(二日に一回貼付)。一ヶ月後、動悸、発汗、ほてり、のぼせ消失。一年後、エストラーナシール(二週間一回貼付)の使用減少。子宮、卵巣、乳房に異常所見なし。一年半後、エストラーナシール中止。現在、加味逍遙散加大黄と酸棗仁湯を半量継続中。次回は、妊娠中の蛋白尿です。

[院長]

アトピー性皮膚炎

大人や子供のアトピー性皮膚炎の漢方治療をしています。大人には、清熱剤、利尿剤駆瘀血剤を中心に皮膚の熱や水感染を調整、子供には虚弱な体質(胃腸虚弱)を改善し、アレルギー体質の治療を実施しています。その他、漢方外用薬、漢方入浴剤なども処方し、かさかさ、ジクジク、痒みなどの苦痛から解放できるようお手伝いしています。



妊娠中毒症

妊娠中、“むくみ”“高血圧”“蛋白尿”が現れる状態を言います。糖分、脂肪分、塩分の摂り過ぎが原因のことが多く、もともと、体重や脂肪の多い方は要注意です。異常な食欲、咽の渴きを感じたら要注意です。お産の目標体重を守ってください。食事指導、安静(休養)指導をすると共に漢方薬処方を実施しています。



更年期障害

女性ホルモンが不足始めると、それまでと違い、筋肉、血管、関節、骨などの弾力性が低下し、心も体もかたくなり、人との係りや環境に敏感になってきます。息抜き(のびのびさ、ストレス解消)、骨盤体操などもお勧めしながら、当院は漢方薬を中心の治療を実施しています。また、ご希望の方には、女性ホルモンの値を調べホルモン剤も処方します。



当院の漢方治療



剤型

- ・エキス漢方薬：錠剤タイプの漢方薬と顆粒タイプの漢方薬があります。
 - ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。20～30分煮て作ります。
- 当院の顆粒タイプの漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも固まる場合、冷蔵庫(冷凍庫)で保管して下さい。
- 漢方薬が固まりやすい場合、当院の漢方薬専用容器(無料)をご利用下さい。

適応症

便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。

- ・漢方薬のよく効く疾患
 - アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性膀胱炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・
- ・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患
 - 高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症・中程度の病気：漢方製剤(顆粒あるいは錠剤)を組み合わせで治療。
- ・重症の病気、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、痰、膣分泌物、心電図、骨量測定・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

予約ー漢方外来

土曜日の午後、予約-漢方外来があります(予約制、2回/月)。
 午後2時～2時20分、2時20分～2時40分、2時40分～3時
 3時～3時20分、3時20分～3時40分。
 日程は掲示板やホームページでご確認ください。(電話予約可)

骨量測定(4～6ヶ月ごと)

1分で測定(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

アトピー軟膏 健康食品

漢方薬(生薬)のみで作られた軟膏です。
 ・紫雲膏 ・太乙膏 ・アガリクス ・メシマコブ
 ・靈芝 ・AHCC ・サメ軟骨 ・快歩楽

漢方入浴剤

- ・美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・
- ・昇電湯：腰痛、肩こり、神経痛、疲労回復・・・
- ・アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、保険証の変更は、早急に受付に連絡して下さい。

在宅療養の支援とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、その家族を訪問し、計画的に診療と治療を行います。往診と違い、定期的に(月に2～12回)訪問診療を行い、患者さんの健康を管理します。在宅療養の支援についてお気軽にご相談下さい。

スーパーライザー(神経照射)

赤い温かい光(近赤外線)で血行をよくし、腰痛、肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス・・・などの治療に利用しています。

皮内針 針管付き鍼

皮内針の長さは1～2mm、針管付き鍼の長さは30mm、いずれの鍼も刺す時の痛みはありません。肩こり、膝関節痛、腰痛、足の痛、筋肉痛、頭痛・・・の治に適しています。

予防接種 ワクチン接種

子宮頸癌予防ワクチン、インフルエンザ(季節型、新型)、BCG三種混合(DPT)、麻しん・風しん(MR)、日本脳炎、水ぼうそう、おたふくかぜ、Hib(インフルエンザ菌b型)、肺炎球菌ワクチン(小児用 プレベナー)(高齢者)、その他

外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午	○	○	○	○	○	○	—
正午～午後0時30分	—	—	産後健診(予約可)	—	産後健診(予約可)	—	—
午後2:00～午後3:30	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	予約-漢方外来 (月2回)	—
午後2:00～午後4:00	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	—	—
午後5:30～午後7:30	○	—	○	—	○	—	—

- ◇漢方外来 (月～土): 内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科など全科の漢方薬による治療。
- ◇予約-漢方外来(2回/月 土曜日): 午後2時～2時20分、2時20分～2時40分、2時40分～3時、3時～3時20分、3時20分～3時40分。電話予約可(日程はホームページ、掲示板参照)
- ◇更年期外来(月～土): 更年期の方、思春期の方(女性、男性 どなたでもお越し下さい)
- ◇不妊 外来(月～土): 赤ちゃんの欲しい方 (ご夫婦でもお越しになれます)
- ◇妊婦 外来(月～土): 妊婦健診、妊娠中の方
- ◇産後 健診(水、金曜日)(有料): 正午～午後0時30分 電話予約可 赤ちゃん健診(1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月) 産後健診
- ◇母乳 相談(月～金曜日)(有料): 午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分 乳房マッサージ 電話予約可

前期と中期-母親教室

後期-母親教室

4月2日(土) 5月7日(土) 13:30～15:30

4月9日(土)/23日(土) 5月14日(土)/28日(土) 13:30～15:30

母親教室のご案内

場所: 当院別棟 多目的ルーム 申込方法: 申込ノートでご予約お願いします。
 立会分娩ご希望の方は特にご参加をお薦めします。(申込ノートにお名前を記入をお願いします)
 母親教室では「母と子のてびき」にそって、お話をすすめていきます。
 ご夫婦でのご参加も多くご主人様もお気軽にご参加ください。
 参加時には「母と子のてびき」「母子手帳」を忘れずにお持ち下さい



吉益南涯(1750～1813)(江戸中期)

吉益東洞の長子で寛延3年(1750年)京都で生まれ、父東洞の行きすぎた「万病一毒説」を敷衍し、更に受け継いだ治療法の不備を補いながら、「気血水」学説を主張したが、父東洞の「実地に即した医業、経験医療の確立に努めた。門人に華岡青洲、賀川玄悦、中川修亭がいる。南涯の外出はただ往診の時のみで、歓楽街に足を向けることはなく、家でも、門人への講義か古書を読むのみと言われた。
 著書は「気血水弁」「気血水薬微」「観證弁疑」「方庸」「成蹟録」「続建殊録」「險症百問」がある。

分娩予約

妊娠20週までに受付で予約して下さい。ご予約には、**分娩予約カード**が必要です。予約された方には、**母と子のてびき**、**入院誓約書**、**直接支払い制度合意書**をお渡します。

4D外来(助産師)

助産師が4Dを実施します(およそ30分)。お腹の赤ちゃんの様子が映し出されます。ご希望の方は予約してください。
 火曜日と木曜日(掲示をご覧ください)

パソコンホームページ (<http://www.ukifa.gr.jp>)

トップページ(お知らせの欄、診療日程カレンダー)
 産婦人科のページ(入院、食事、各種教室、指導)
 漢方治療のページ(外来、漢方治療の範囲)
 老人医療のページ(在宅療養の支援)
 健康のページ(健診、ブライダルチェック、予防接種)
 当院の施設案内、当院への交通(車、JR)

産後相談 母乳相談(助産師)

産後相談と母乳相談(有料)(乳房マッサージ)をしています。
 午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分。
 日程は掲示板やホームページでお確かめください。(電話予約可)

正常分娩の入院日数

正常分娩の場合入院日を含めて入院期間は6日間です。
 初産婦の方、経産婦の方も同じ入院日数です。
 分娩希望の方はすべて受け付けています。

里帰り出産を予定されている方へ

当院は里帰り出産を受付けています。妊娠23～25週(母体と赤ちゃんの状態をチェックします)に1度診察においでください。当院での妊婦健診は妊娠34週から受けてください。

赤ちゃん健診

産後健診と1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。
 日時: 毎週水、金曜日 正午～午後0時30分(有料)

入院食(手作り)

心のごもった手作り料理です。素材、味付け、メニュー……など、絶えず工夫し研究しています。

産科医療補償制度

分娩により重度の脳性麻痺となった児及びその家族の経済的負担を補償し、原因分析と再発防止策を講ずるための制度。当院で通院方に、登録証を発行しています(妊娠16～22週)。
 詳細は受付でお聞きください。